

ハッキリ聴こえる音声ガイド (マルチタイプ) 型式：KNC20S

取扱説明書

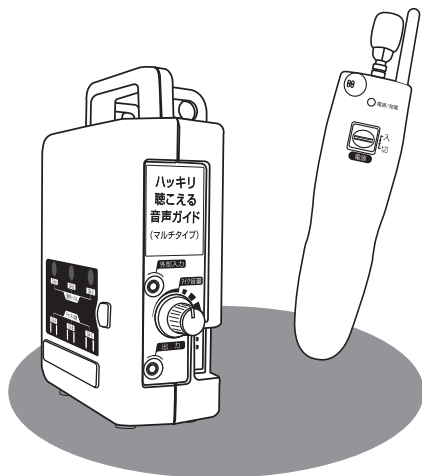
保証書付

この度は「ハッキリ聴こえる音声ガイド(マルチタイプ)」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

●この取扱説明書の裏表紙は保証書となっています。



もくじ

| | |
|-------------------------------|-------|
| 安全上のご注意(必ずお守りください)..... | 2 |
| 使用上のご注意..... | 3 |
| 伝送距離について..... | 4 |
| セット内容をご確認ください..... | 5 |
| マルチレピーターの名称とはたらき..... | 6 |
| マイクユニット(マルチタイプ用)の名称とはたらき..... | 7 |
| 耳かけ型受信機の名称とはたらき..... | 8 |
| マルチレピーターと耳かけ型受信機のペアリング方法..... | 9 |
| 使用方法 | |
| 耳かけ型受信機の電源・装着..... | 10 |
| 耳かけ型受信機の音量調節..... | 11 |
| マイクユニット(マルチタイプ用)..... | 12~13 |
| ピンマイク | |
| マルチレピーター出力端子..... | 14 |
| 充電する..... | 15~16 |
| チャンネルの設定変更の仕方..... | 17 |
| 故障かな?と思ったら..... | 18 |
| 主な仕様..... | 19 |
| 保証書..... | 裏表紙 |

安全上のご注意(必ずお守りください)

危険 ●人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容を示しています。

警告 ●人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 ●人が傷害を負ったり、財産が損害を受ける可能性が想定される内容を示しています。

■ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。

絵表示について

この取扱説明書には、安全にお使いい
いろな絵表示をしています。

危険

禁止 火のそば、直射日光の当たる場所など、高温となる場所で使用、保管、放置しないでください。機器の変形、発熱、発火の原因となることがあります。

分解禁止 内部に電圧の高い部分がありますので分解、改造をしないでください。火災、感電の原因となります。

警告

禁止 本製品を医療機器の近くで使用しないでください。電波が心臓ペースメーカーや医療用機器に影響を与える恐れがあります。表示された電源電圧(AC100V)以外で使用しないでください。火災、感電の原因となります。

本体およびACアダプターを電子レンジなどの加熱調理機器や高压容器に入れてください。発熱、破裂、発火などの原因となります。

本機およびACアダプターを濡らさないでください。火災、感電の原因となります。

製品の内部に水や異物を入れないでください。火災、感電の原因となります。

充電端子をショートさせないでください。火災や故障の原因となります。

ACアダプターのコードは伸ばして使用し、釘などで固定や束ねたまま使用しないでください。過熱による火災やけがの原因となります。

ACアダプターのコードの上に物を置いたり、敷物や家具などの下に入れてたりしないでください。断線、故障の原因となります。

強制 使用中、充電中、保管時に臭気、発熱、変色、変形など、今までと異なるときは、直ちに使用を中止してください。そのまま使用すると発熱、発火などの原因となります。

付属のACアダプター以外使用しないでください。機器の発熱、発火、故障の原因となります。

異物や水などが機器の内部に入った場合は、電源スイッチを切り、ACアダプターをコンセントから抜いて使用を中止してください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

コンセントや本体にプラグを差し込むときは根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと過熱による火災やけがの原因となります。

注意

禁止 落としたり、踏んだり、強い衝撃を与えないでください。けが、故障の原因となります。

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。落下して故障の原因となります。

湿気やほこりの多い場所、高温になる場所、激しい振動のある場所、強力な磁気のある場所には設置、保管しないでください。故障の原因となります。

濡れた手でACアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

本体、ACアダプターを布などで覆った状態で使用しないでください。発熱、発火などの原因となります。

充電中に落雷の恐れのあるときはACアダプターを電源コンセントから抜いて充電を中止してください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

耳を刺激するような大きな音で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。音量を上げすぎないようにご注意ください。

強制 トランク型充電器を使用するとき蓋の開閉にご注意ください。指を挟んだり、爪を損傷する恐れがあります。

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。けがなどの原因となります。

指示 ACアダプターをコンセントから抜くときは、必ずACアダプターの本体を持って抜いてください。コードを持って抜くと、コードの破損や火災、感電の原因となります。

電源プラグの刃および刃の取り付け面についてたほこりなどは乾いた布で定期的に拭き取ってください。電源プラグ部の絶縁低下によって、火災の原因となります。

製品本体の汚れは中性洗剤を含ませた布でふきとってください。アルコール、ベンジン、シンナーなどを使用すると変形・変色の原因となります。

本製品を長時間使用しない場合でも、1か月に一度を目安に充電を行ってください。

電気が 機器を移動させる場合は必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。コードの傷つきや、けが、火災、感電の原因となります。

長時間使用しないときは、ACアダプターをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となります。

使用上のご注意

ワイヤレス機器について

本製品は2.4GHzの周波数帯域を使用します。この周波数帯域を使用するほかの機器との電波干渉を避けるために、下記事項をお読みのうえ、ご使用ください。

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許が必要)、特定小電力無線局(免許が不要)、およびアマチュア無線局(免許が必要)が運用されています。

- 1.本製品を使用される前に、近くで他の無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2.本製品の使用により、万一、他の無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに電波の送信を停止し、電波干渉を避けてください。
- 3.その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合やご不明な点がございましたら、当社相談窓口までお問い合わせください。

本製品は日本国内でのみご使用いただけます。

- ・本製品は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けております。無線局の免許は必要ありません。
- ・以下の行為は法律で禁じられています。
 - －分解や改造を行う
 - －本体に貼付の技術適合証明ラベルをはがす
- ・他の機器との影響
 - 電子レンジ、デジタルコードレス電話、無線LANを使用する機器、Bluetooth搭載機器など、本製品と同じ2.4GHz帯の電波を使用する機器の影響によって音声が途切れることがあります。同様に、本製品の電波がこれらの機器に影響を与える可能性があるため、干渉しあう機器同士は離して設置してください。
- ・伝送距離について
 - 本製品は送信機の音声をマルチレピーターを介し、受信機に無線伝送します。
 - 伝送可能な距離は見通しがよい場所で送信機からマルチレピーターまで約100m*
マルチレピーターから受信機まで30~50mです。
 - 送信機から受信機まで最大150m送信します。
 - *送信機からの伝送可能な距離は周囲の環境や建物の構造などによって変化します。
 - 送信機と受信機の間壁や金属の扉など、電波を遮るものがあると伝送距離は短くなります。また、送信機は電波を反射する壁の近くや、電波を放射しにくいスチールラックの中などを避けてください。

内蔵バッテリーについて

バッテリーは、正常に使用した場合でも劣化する消耗部品です。バッテリーの消耗は、特性であり故障ではありません。保証期間内においても内蔵バッテリーは有償修理となります。

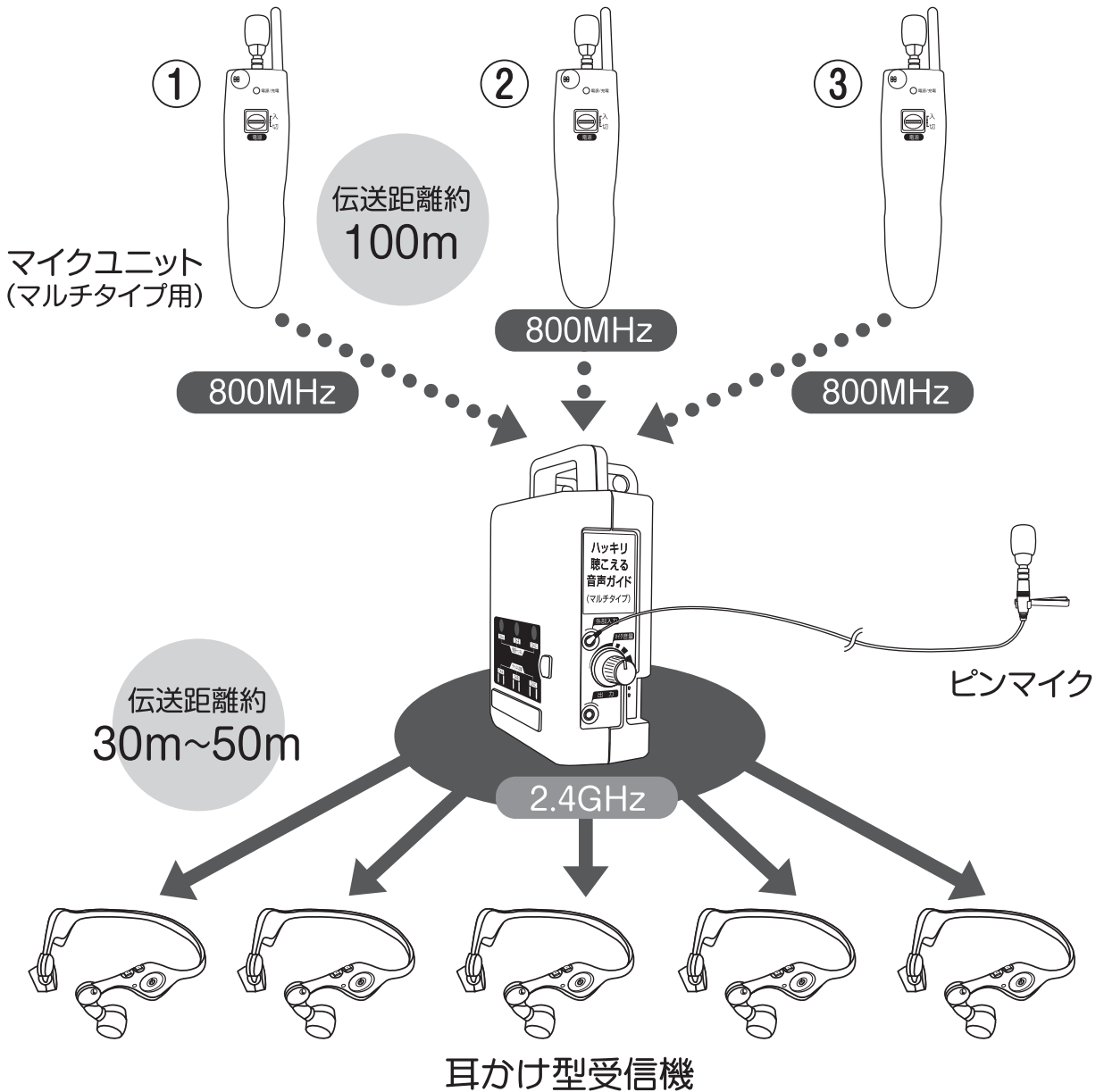
- 本製品を使用せず、長期間保管していた場合、バッテリー性能は低下します。しばらく使用しない場合にも定期的(6ヶ月ごと)に充電してください。
- 周囲温度が低い環境では、バッテリー持続時間が短くなります。
- リチウム電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの製品の破棄に際しては、各自治体の廃棄方法に従ってください。充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、社団法人電池工業会ホームページ<http://www.baij.or.jp>をご覧ください。

電池交換について

電池交換はエムケー電子(株)サービス課で行います。TEL.026-214-7855までご連絡ください。

伝送距離について

※2 台目、3 台目のマイクユニットはオプションにて追加購入して下さい。

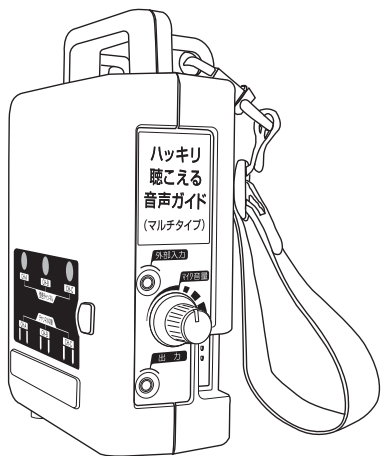


マイクユニット1名、ピンマイク1名、計2名の声と同時に送信します。
(マイクユニットの追加購入で最大計4名)

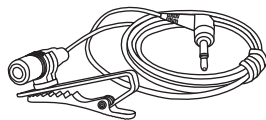
※伝送可能な距離は、周囲の環境などによって変化します。マイクユニットと耳かけ型受信機との間に壁や金属の扉など、電波をさえぎるものがあると伝送距離は短くなります。

※マルチガイド用ではないマイクユニット(GA-500MU)を使用した同時送信は出来ません。

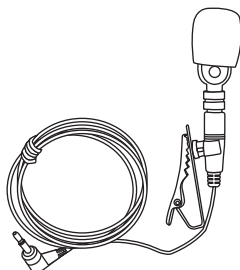
セット内容をご確認ください



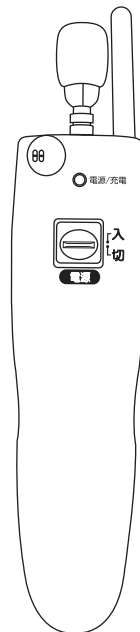
マルチレピーター
(1台)



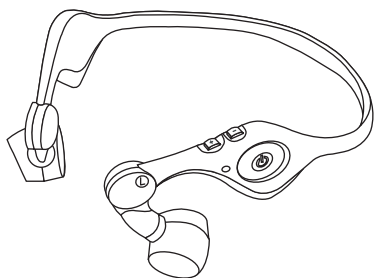
タイピンクリップ付
コード(1本)



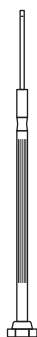
単一指向マイク&
タイピンクリップ付コード(1本)



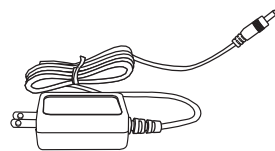
マイクユニット
(マルチタイプ用)
(1台)



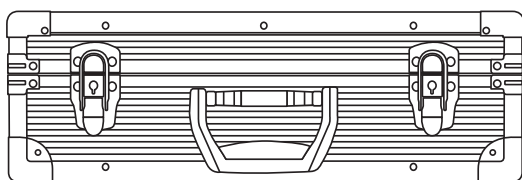
耳かけ型受信機
(5台)



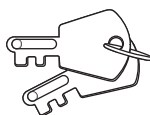
チャンネル変更用
ドライバー (1本)



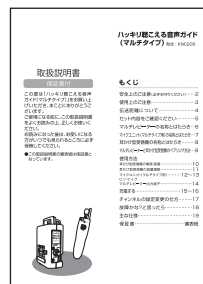
トランク型充電器用
ACアダプター
(1台)



トランク型充電器
(マルチタイプ用)
収納ケース兼用(1台)



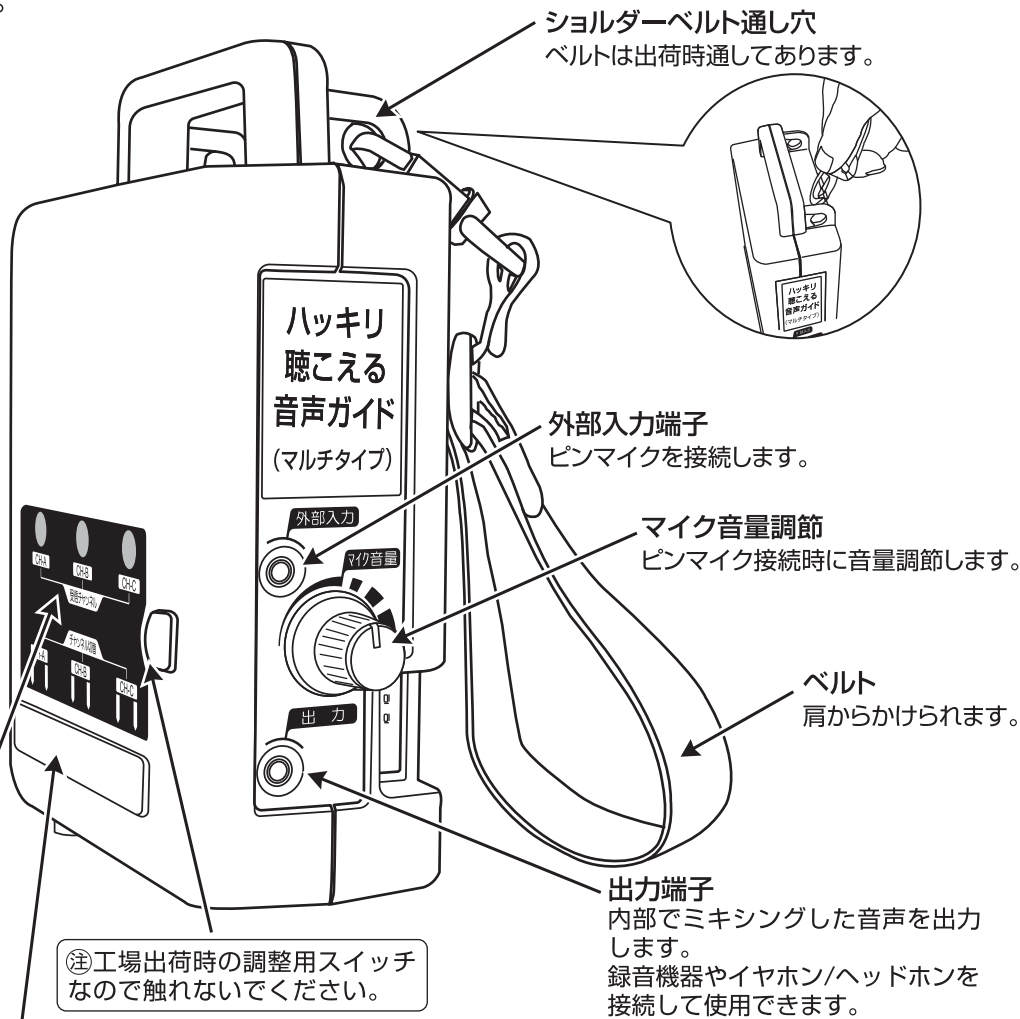
トランクキー
(2個)



取扱説明書
保証書付き
(1冊)

マルチレピーターの名称とはたらき

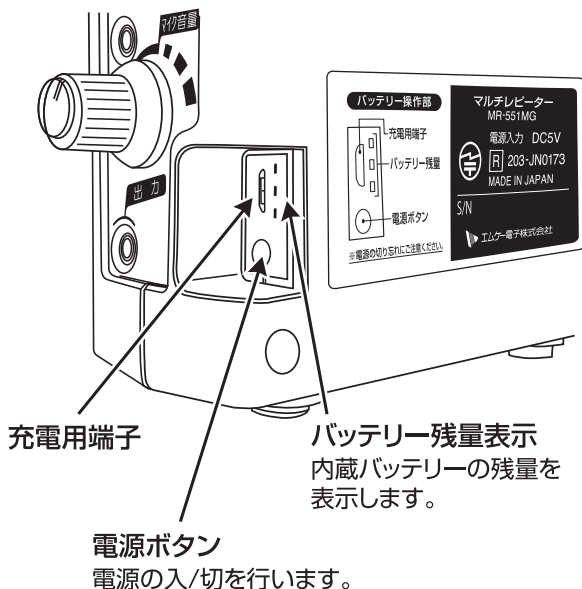
マイクユニット(マルチタイプ用)とピンマイクの音声を同時に受信、混合し耳かけ型受信機に送信します。



チャンネル切替
マルチレピーターの
チャンネルを切替えます。

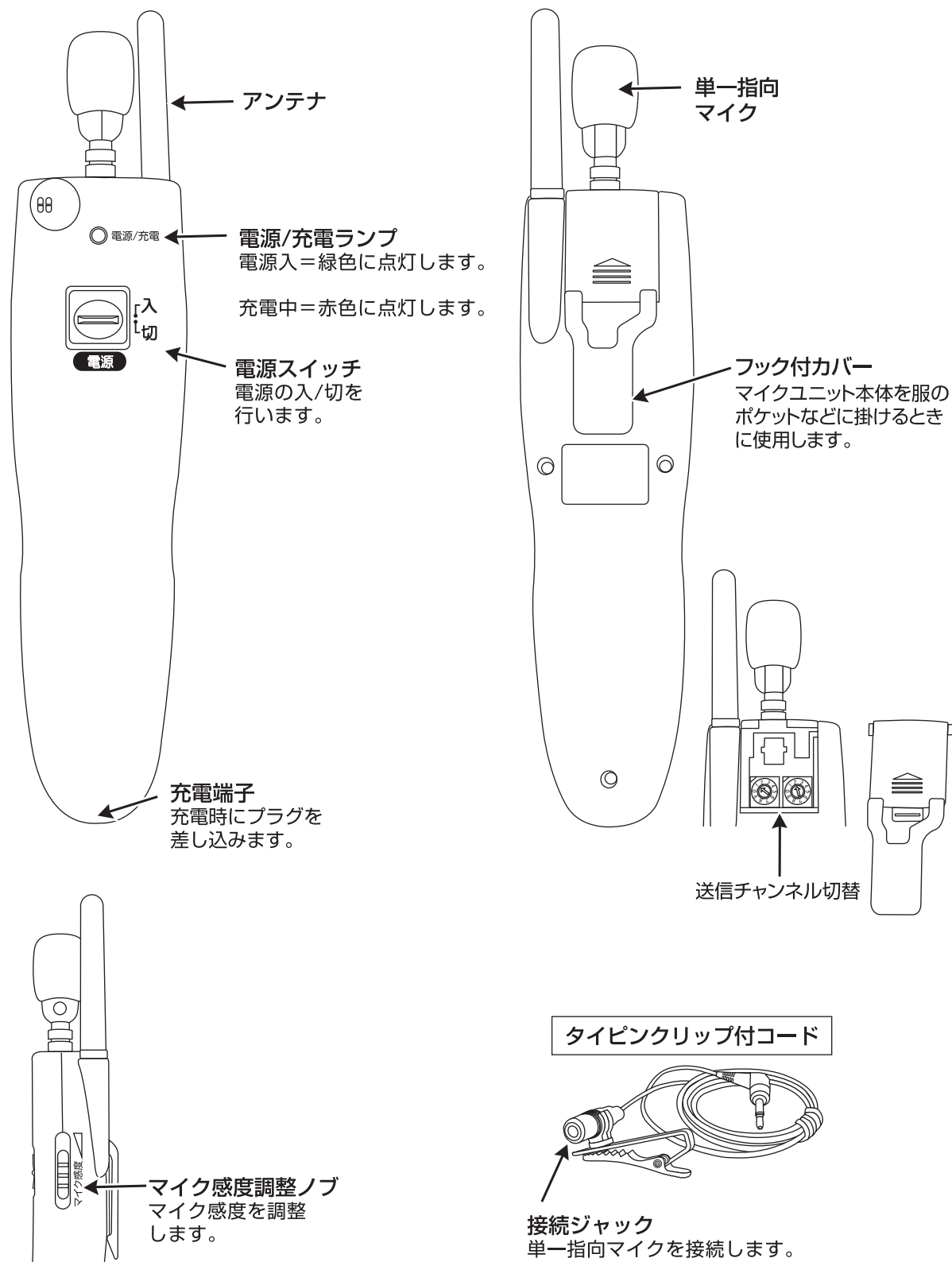
受信チャンネル
マイクユニットからの受信を確認します。

マイクユニットの電源を入れた時、
同じチャンネルのLEDが点灯します。



マイクユニット(マルチタイプ用)の名称とはたらき

ノイズキャンセル機能と単一指向マイクで背景雑音を除去し、音声(人の声)だけを伝えます。
チャンネルが異なる3台まで同時に使用できます。



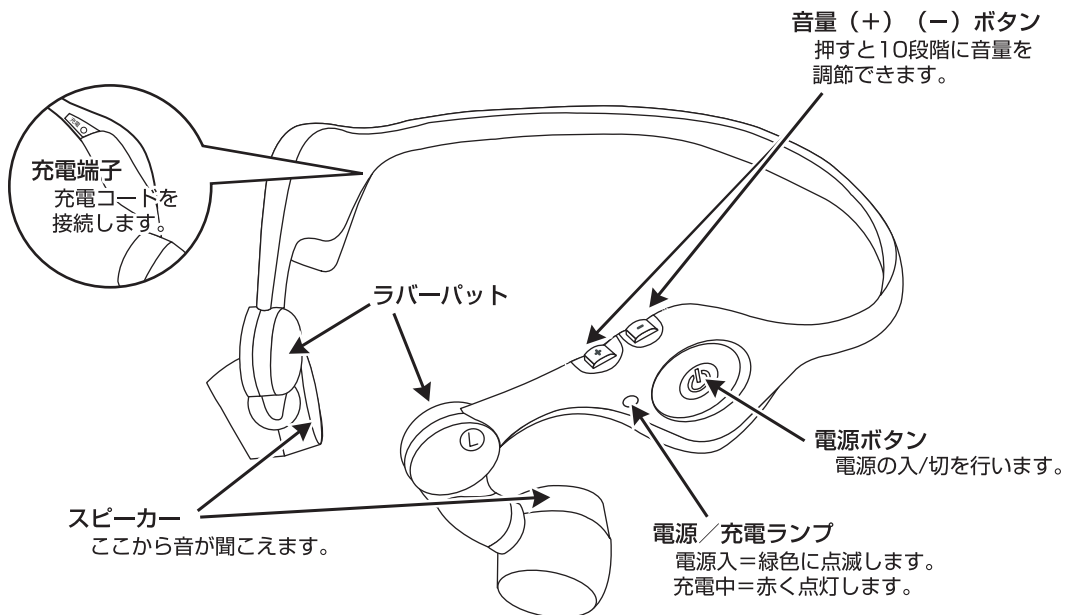
耳かけ型受信機の名称とはたらき

耳かけ型受信機

耳にかけるようにして装着します。
耳介で音声を共鳴させて耳の中へと伝えます。

最大8時間連続使用可能です。

※お使いの環境、使用条件によっては、使用できる時間は異なります。



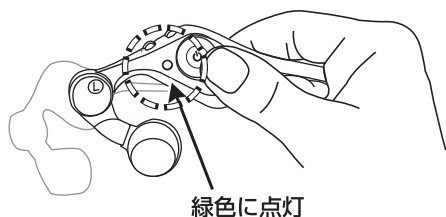
※マイクユニットの電源を切ると受信機の電源も約10分後に自動的に切れます。(切り忘れ防止)

マルチレピーターと耳かけ型受信機のペアリング方法

使用前にペアリングを行います。一度設定を行えばマルチレピーター、耳かけ型受信機の電源を切ったりバッテリーがなくなってもペアリングの情報は保持されます。

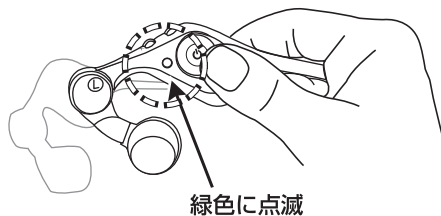
1. マルチレピーター、耳かけ型受信機ともに電源を切ります。
2. 耳かけ型受信機の電源スイッチを長押ししペアリングモードにします。

長押しで電源が入り緑のランプが
つきますが更に押し続けます。



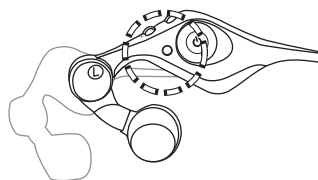
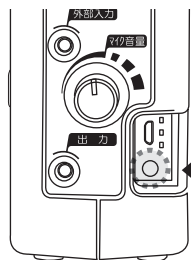
LEDランプが緑色に点灯するまで
長押しします=電源が入る

押し始めてから約5秒間押し続け
ると緑のランプが1秒ごとの点滅
【ペアリングモード】になります。



さらに押し続けると緑のLEDランプが
点滅します(押し始めから約5秒)
=ペアリングモード

3. マルチレピーターの電源を入れます。



ペアリングがとれると2~3秒ごとの
ゆっくりした点滅になります。

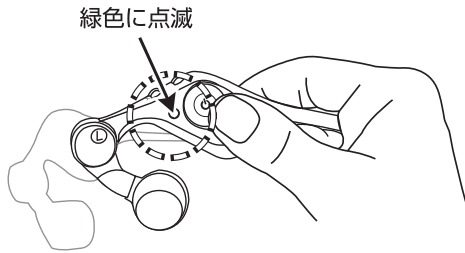
ペアリング作業

耳かけ型受信機とマルチレピーターは30cm
以内の距離で1台ずつ行ってください。

*ご使用後はマルチレピーター、耳かけ型受信機の電源を切ってください。

使用方法 耳かけ型受信機の電源・装着

耳かけ型受信機の電源を入れます。



電源ボタンを約1秒間長押しすると電源が入ります。

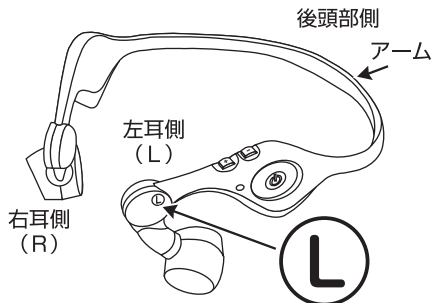
■3秒に1回くらいのゆっくりした点滅になると、電源が入ったしるしです。

電源が「入」の状態

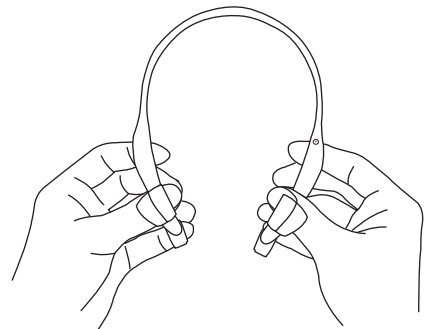
マルチレピーターの電源が入っている場合
..... 3秒ごとの点滅

マルチレピーターの電源が入っていない場合
..... 1秒ごとの点滅

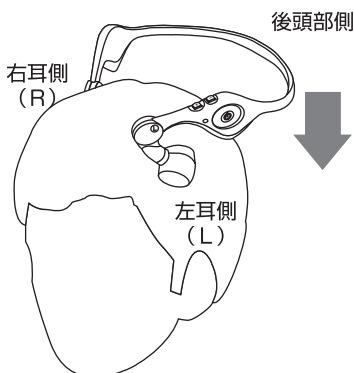
耳かけ型受信機を装着します。



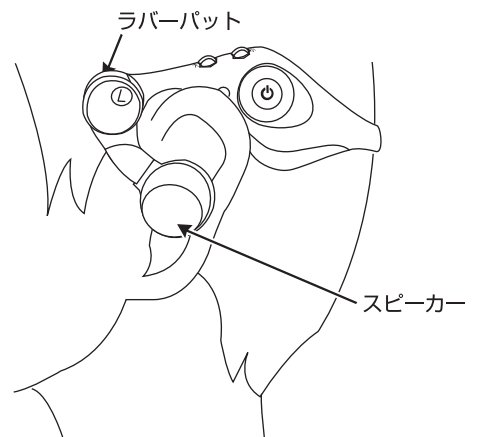
①レシーバーユニットの金色の部分に表示されている、L(左)とR(右)の文字を確認します。



②Lを左手、Rを右手で持ちアームを少し広げて頭の上から耳に向かっておろします。



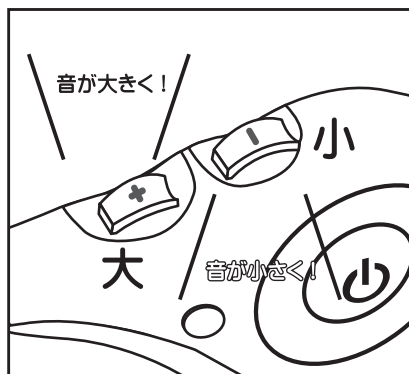
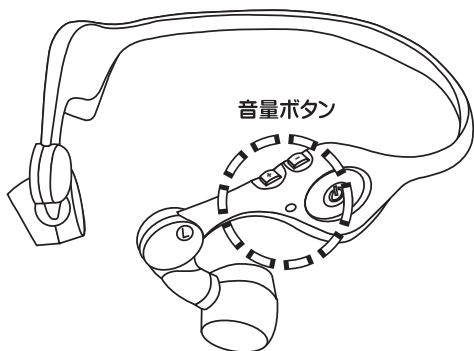
③L(左)とR(右)のむきを確認しアーム部分が後頭部側にくるように装着してください。



④ラバーパットがこめかみ付近に当り、スピーカーが耳の穴の上にくるように調整してください。

使用方法 耳かけ型受信機の音量調節

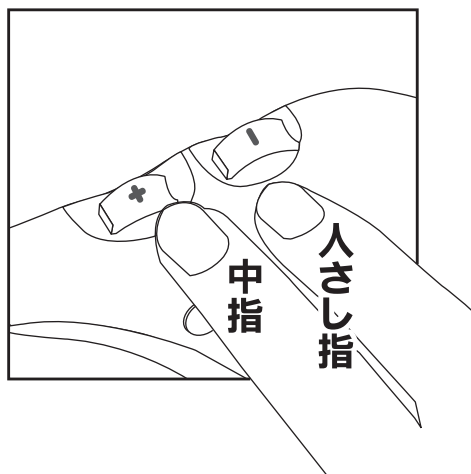
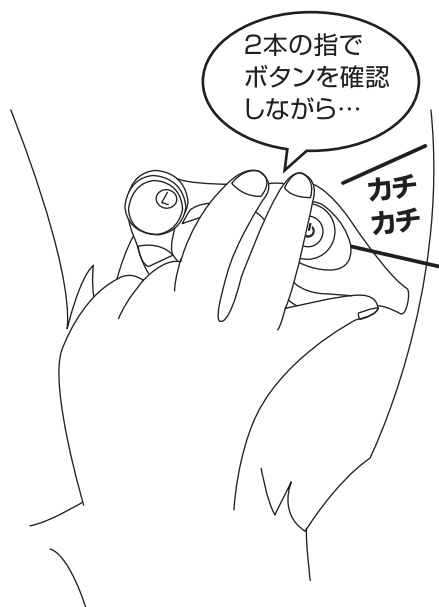
耳かけ型受信機についている「音量ボタン」を使い、音の大きさを10段階に調節できます。音量ボタンは、耳かけ型受信機を装着したままでも操作可能です。



音量ボタンは受信機の左側(L)にあります。電源ボタンの上に2つ並んでいる金色のボタンです。

ボタンを押す際は、カチッと音が鳴るまでしっかり押ししてください。

(+)のボタンを1回押すと1段階音が大きくなり(-)のボタンを1回押すと1段階音が小さくなります。



音量ボタンは受信機を装着したままでも操作可能です。左手で、受信機の左側にボタンが2つあるのを確認しましょう。前側ボタンに中指、後ろ側ボタンに人さし指をおきます。

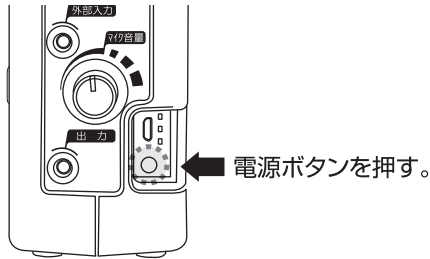
音量を大きくする場合は、中指で前側の(+)ボタンを押します。音量を小さくする場合は、人さし指で後ろ側の(-)ボタンを押します。

周囲の音が聞こえないと危険です。周囲の音が十分に聞こえる音量でご使用ください。

* ご使用後は電源ボタンを約1秒長押しして、電源を切ってください。

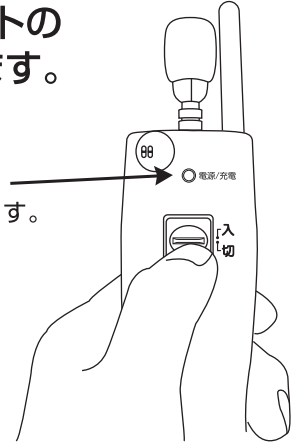
使用方法 マイクユニット(マルチタイプ用)

マルチレピーターの電源を入れます。



マイクユニットの電源を入れます。

電源を入れると
緑色に点灯します。



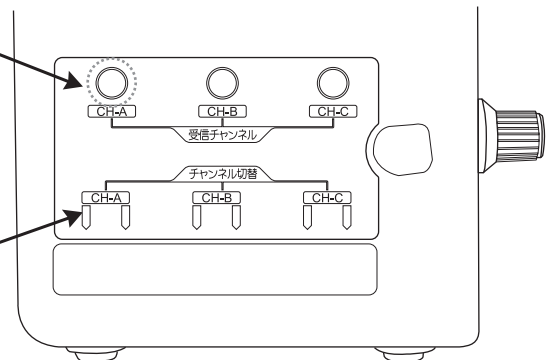
使用後は電源を切ってください。

受信チャンネル

マイクユニットと同じチャンネル設定されたマルチレピーターのLEDが点灯します。

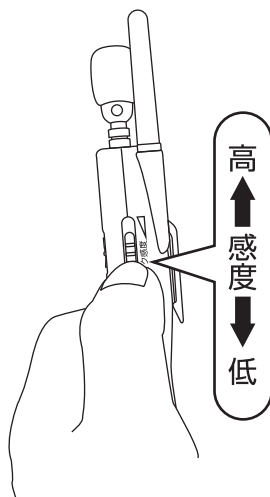
チャンネル切替

マイクユニットは最大3台(チャンネルA~C)まで同時に使用できます。



マイク感度調整を行います。

使用環境の騒音等の状況によりマイク感度を調整してより聞き取りやすくします。



○「マイク感度調節ノブ」を上下にスライドさせて聞き取りやすい位置にしてください。

周囲がうるさい時(工場内 など)

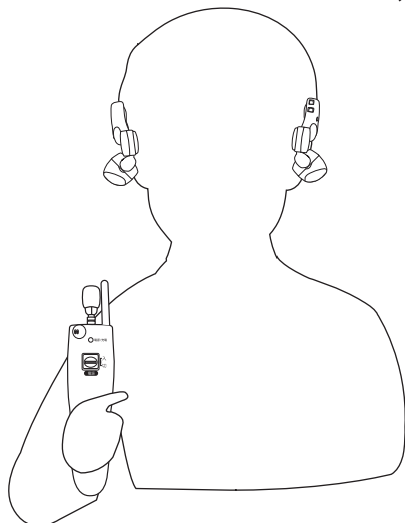
マイク感度を下げると聞き取りやすくなります。
マイク感度「低」側に動かしてください。
マイクユニットの単一指向マイクを口元から5~10cm程度の位置にすると話し手の声が聞き取りやすくなります。

周囲が静かな時(会議室・美術館 など)

マイク感度を上げると聞き取りやすくなります。
マイク感度「高」側に動かしてください。
マイクユニットの単一指向マイクを口元から15~20cm程度の位置にすると話し手の声が聞き取りやすくなります。

使用方法 マイクユニット(マルチタイプ用)

マイクユニットを手にとって使用する場合



ポイント1

単一指向マイクを口もとに向けると、より明瞭に音声を伝達できます。

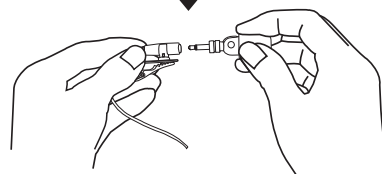
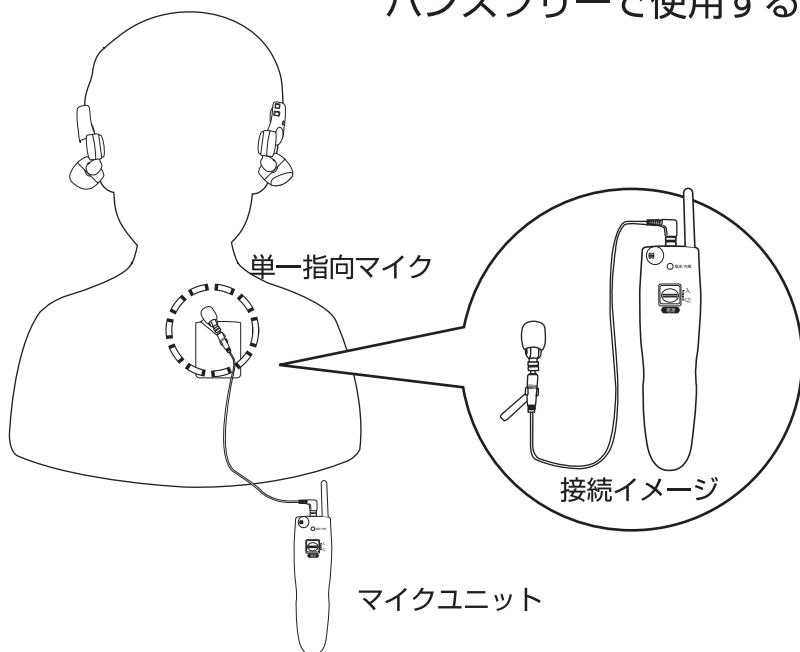
ポイント2

話し手ご本人も耳かけ型受信機を装着すると、音声の伝わり方を確認しながら話すことができます。

※マイク感度や受信機の音量によってはハウリングを起こす場合があります。

※マイクユニットは半分から下の部分を持ってください。

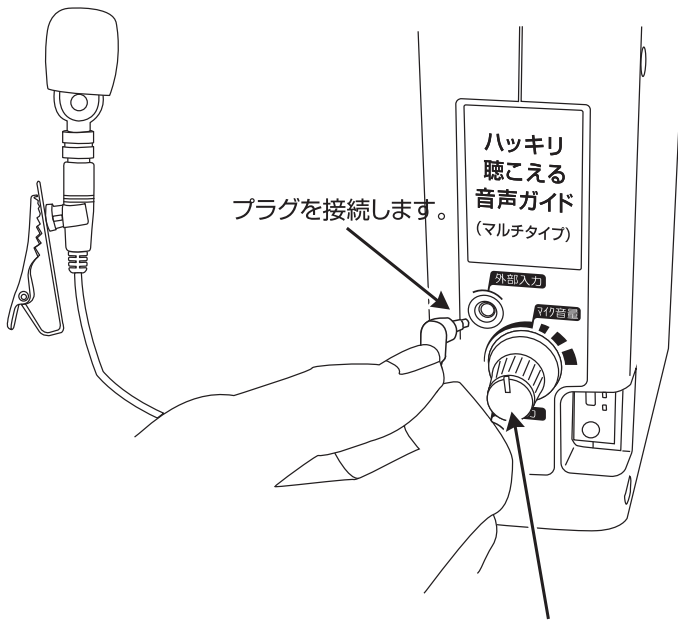
ハンズフリーで使用する場合



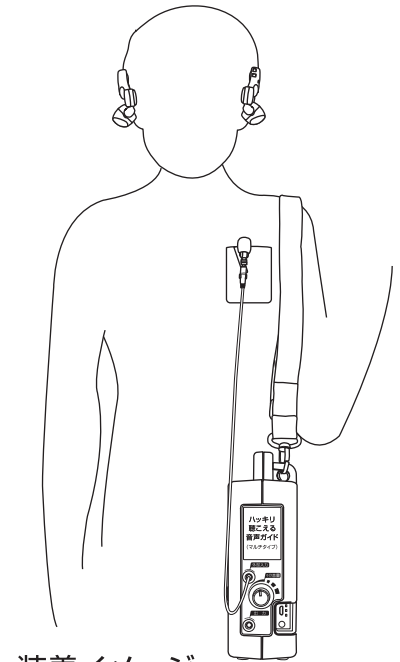
単一指向マイクをとりはずし、タイピンクリップ付コードを接続して胸もとなどにクリップでとめます。

使用方法 ピンマイク

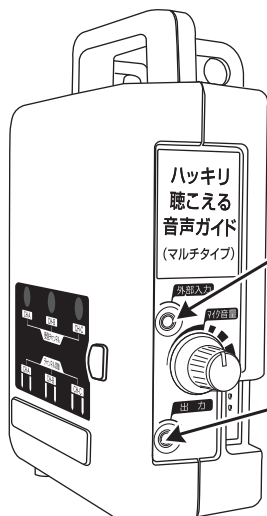
マルチレピーターの電源を入れ、外部入力端子にピンマイクを接続します。



ピンマイクから入力される音声の音量は「マイク音量調節」で調節できます。



使用方法 マルチレピーター外部入力・出力端子

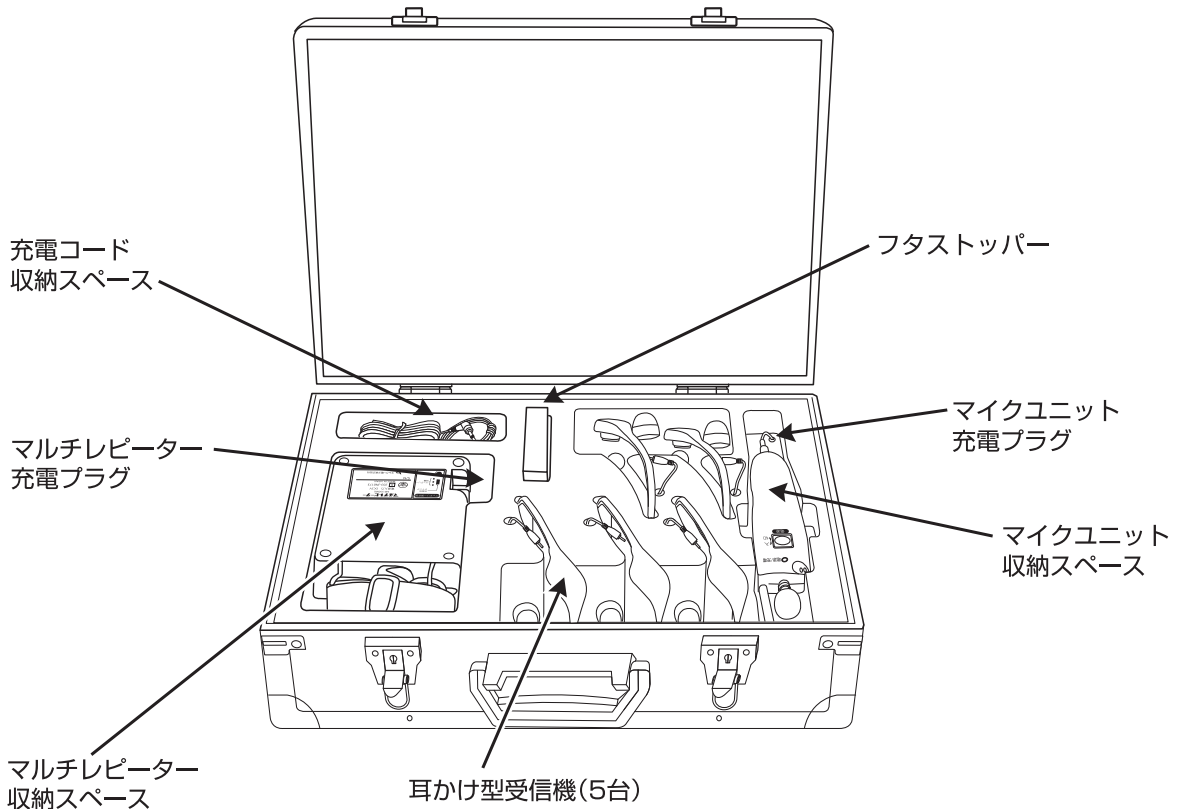


ピンマイクを接続しないときは、市販のオーディオプレーヤーなどを接続することができます。(接続用コードは付属していません。)

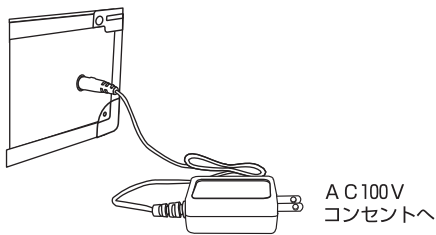
内部でミキシングしたピンマイク、マイクユニットの音声を出力します。

市販のイヤホン、ヘッドフォン、録音機器を接続して使用することができます。

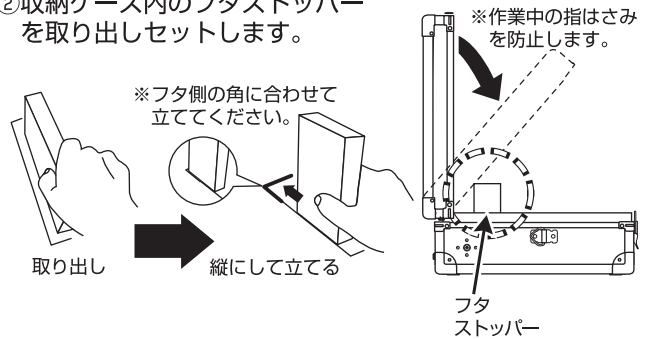
充電する



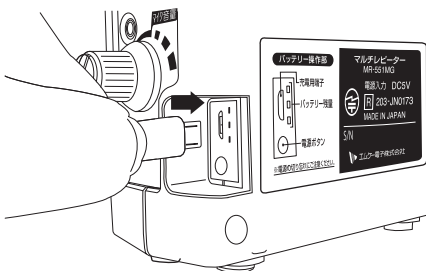
- ① 充電コードをトランクの側面にあるプラグ差込口に接続し、コンセントに差し込んでください。



- ② 収納ケース内のフタストッパーを取り出しセットします。

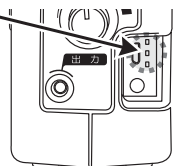


- ③ マルチレピーターの充電端子に充電プラグを接続する。



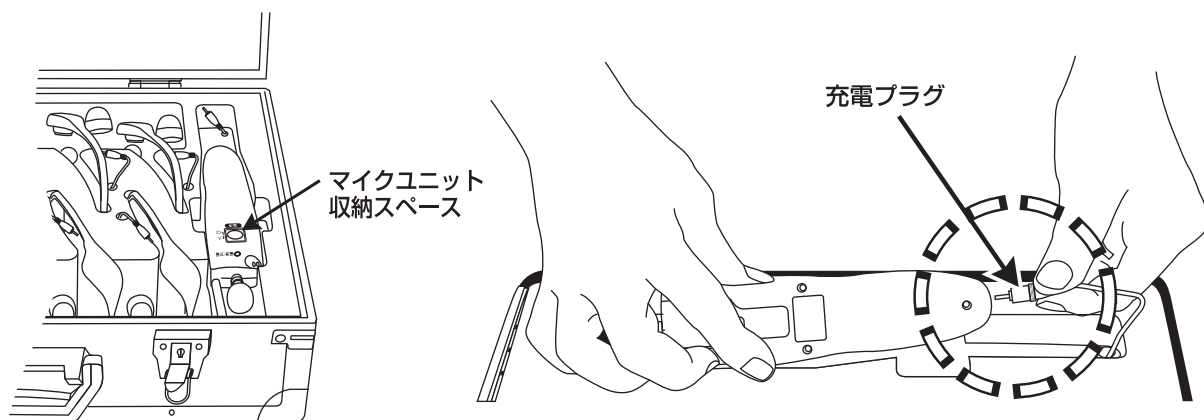
充電の進行に伴いマルチレピーターのインジケータの目安が1目盛ずつ点滅→点灯していきます。3目盛すべてが点灯すると満充電です。

○約5時間で満充電になります。



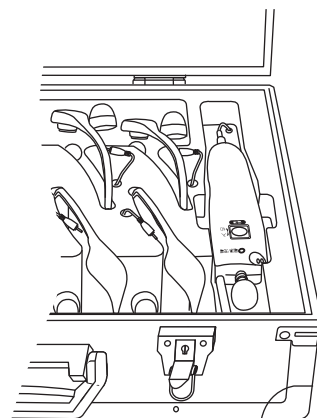
充電する

④ トランク内のマイクユニット収納スペースに戻しマイクユニット底面にある充電端子にプラグを差し込みます。

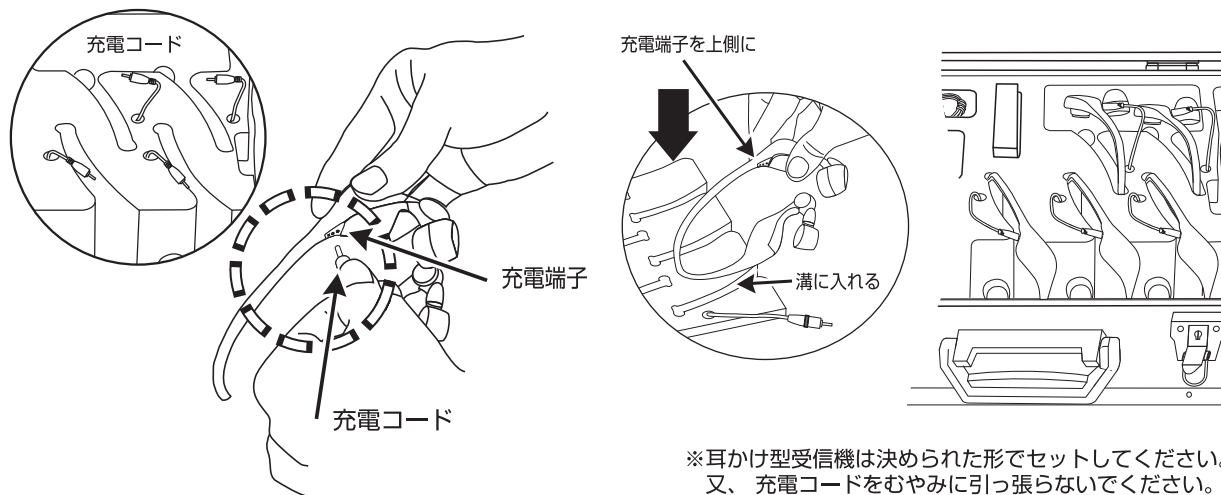


充電中はマイクユニットの電源/充電ランプが赤く点灯します。

- レピーター専用マイクユニットは約4時間で満充電になります。
- 満充電になると電源/充電ランプは消えます。



⑤ 耳かけ型受信機をクッション材の溝に入れた状態のまま充電コードのプラグを充電端子に差し込みます。



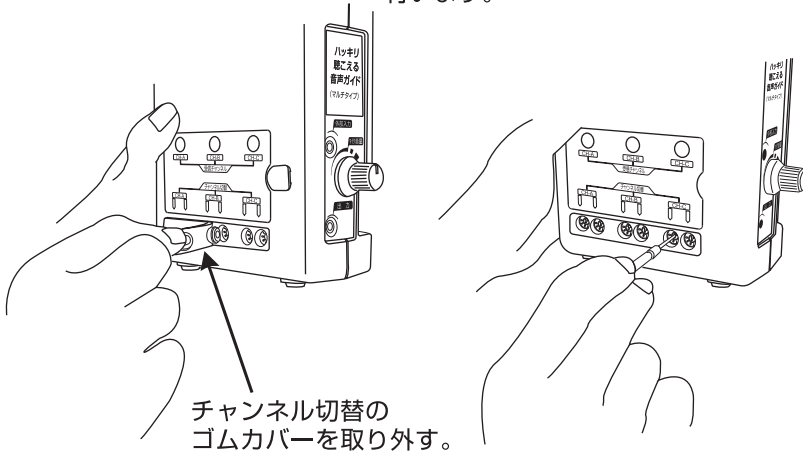
★ご使用後は、マルチレピーター・マイクユニット・耳かけ型受信機すべて充電してください。

チャンネル設定変更の仕方マルチレピーターマイクユニット(マルチタイプ用)

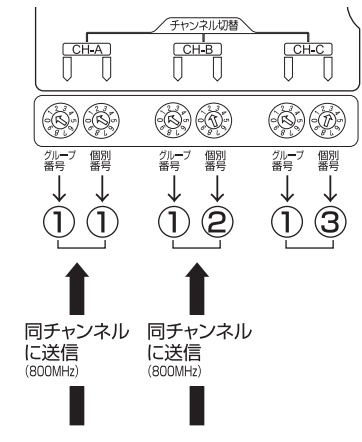
混信する時や、使用時のグループ分け等の用途によりチャンネルの設定変更が可能です。

マルチレピーター

マルチレピーター、マイクユニット(マルチタイプ用)ともに設定変更を行います。

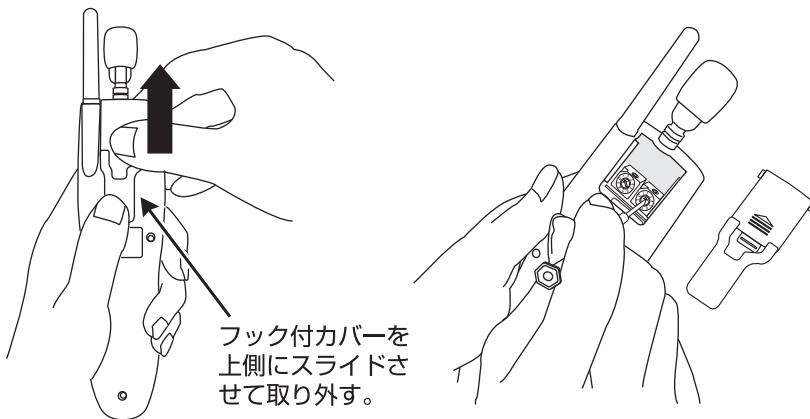


出荷時のチャンネル設定(基本) <マルチレピーター>

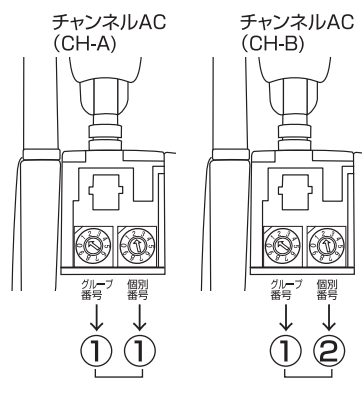


マルチレピーター、マイクユニット(マルチタイプ用)のチャンネル設定は番号共通

マイクユニット(マルチタイプ用)



出荷時のチャンネル設定(基本) <マイクユニット(マルチタイプ用)>



変更方法

チャンネル変更用ドライバーを使ってグループ番号と個別番号を変更します。

マルチレピーター、マイクユニットともチャンネルは必ず統一にしてください。

※異なったグループに設定すると(グループが分かると)干渉が起り混信の原因になります。

マルチレピーター、マイクユニットとも1つのチャンネルごとにグループ番号と個別番号が横に並んでいます。



グループ番号

個別番号

各チャンネルで必ず同じ数字に設定してください。

重複しない別の数字に設定してください。

1~4

1~6

のいずれかに統一します。

故障かな?と思ったら

| 症 状 | 原 因 | 対処のしかた |
|--------------------------|--|---------------------------------------|
| 音が出ない | 耳かけ型受信機の音量が下がっている | 耳かけ型受信機の音量を調整する |
| | マイクユニット、耳かけ型受信機、またはマルチレピーターの電源が入っていない | マイクユニット、耳かけ型受信機、またはマルチレピーターの電源を入れる |
| | マイクユニットの充電が不足している | マイクユニットを充電する |
| | 耳かけ型受信機の充電が不足している | 耳かけ型受信機を充電する |
| | マルチレピーターの充電が不足している | マルチレピーターの充電をする |
| | 鉄筋、アルミサッシなど電波を遮るものが近くにある | 金属部分から離れた位置で使用する |
| | マイクユニットと耳かけ型受信機がマルチレピーターから離れすぎている | マイクユニットと耳かけ型受信機をマルチレピーターに近づける |
| | ペアリングができていない | 耳かけ型受信機、マルチレピーターのペアリングを行う(本書P9を参照) |
| 音が途切れる 音がひずむ 雑音が多い | 耳かけ型受信機の充電が不足している | 耳かけ型受信機を充電する |
| | 周囲に2.4GHz帯の電波を使用している機器がある(無線LAN、Bluetooth) | 2.4GHz帯の電波を使用する機器から離して使用する |
| | 鉄筋、アルミサッシなど電波を遮るものが近くにある | 金属部分から離れた位置で使用する |
| | マイクユニット、マルチレピーターの充電が不足している | マイクユニット、マルチレピーターを充電する |
| | マイクユニット、マルチレピーターのチャンネルが合っていない | マイクユニット、マルチレピーターのチャンネルを合わせる(本書P17を参照) |

主な仕様

<マイクユニット(マルチタイプ用)>

| | |
|--------|---|
| サイズ | :幅47mm×奥行29mm×高さ220mm |
| 質量 | :約90g |
| 電源 | :DC5V リチウムポリマーバッテリー |
| 連続使用時間 | :8時間以上 |
| 搬送周波数帯 | :800MHz |
| 変調方式 | :FM |
| その他 | :免許資格不要 単一指向マイク ϕ 12.4mm×48.3mm (プラグ部含む) タイピンクリップ付コード 1m |

<マルチレピーター>

| | |
|--------|----------------------------|
| サイズ | :幅57mm×奥行138mm×高さ177mm |
| 質量 | :約500g |
| 電源 | :DC5V リチウムイオンバッテリー |
| 連続使用時間 | :8時間以上 |
| 搬送周波数帯 | :送信部 2.4GHz :受信部 800MHz |
| 変調方式 | :送信部 FHSS :受信部 FM |
| その他 | :3CH同時受信 |

<耳かけ型受信機>

| | |
|--------|------------------------|
| サイズ | :幅125mm×奥行70mm×高さ163mm |
| 質量 | :約50g |
| 電源 | :DC5V リチウムポリマーバッテリー |
| 連続使用時間 | :8時間以上 |
| 受信周波数帯 | :2.4GHz |
| スピーカー | : ϕ 20mm×2 |

<トランク型充電器(マルチタイプ用)>

| | |
|------|-------------------------|
| サイズ | :幅455mm×奥行150mm×高さ365mm |
| 質量 | :約4.2kg |
| 入力電圧 | :AC100V~240V 50/60Hz |
| 出力電圧 | :DC5V |



エムケー電子株式会社

〒388-8014 長野県長野市篠ノ井塩崎6598
電話 026-214-7855 FAX 026-214-7788
受付時間 月曜～金曜 9:00～17:00(土・日・祝日は除く)
E-mail / toiawase@mkdenshi.co.jp